

令和3年度 第3回 そだつ部会



第3回目は11月26日(金)に『相談したいとき～何を いつ どこで～東備支援学校では』をテーマに特別支援教育コーディネーター武田育子先生、スクールカウンセラー安東節子臨床心理士を講師にお迎えし、そだつ部会を開催しました。



○武田先生より相談したいとき～東備支援学校では～

東備支援学校では、相談場所として「晴れルーム」「ひまわり教室」などがあり、その内容や利用の仕方の紹介をしていただきました。この利用は、東備支援学校在籍の児童及び保護者のみですが、赤磐市の小・中学校でのスクールカウンセラーの実際についても、学校教育課の担当者から説明があり月1・2回開催されているとのことを知りました。

○安東スクールカウンセラーに質疑応答 TIME



Q：支援者自身も相談上手になるには？

A：相談をされる側は、まず、相手が相談に何を求めているか(励まし or 慰め or アドバイス)をつかむのがポイントです。

Q：早期療育が進んでいるが、高学年ぐらいで療育が必要だと分かった時、どこに相談に行けばよいか。

A：小さい頃はなんとなく過ごせてきたが、高学年ぐらいから友達関係の摩擦によりしんどくなるケースについては、思春期ケアのある病院(岡山県精神科医療センター)の利用も考えるとよいのではないかと思います。



○グループに分かれ、フリートーク♪

- ・相談場所や流れなど、情報収集が出来ました。
- ・相談へのハードルが下がるようにしていきたいです。私自身も相談上手になれるといいな。
- ・相談支援専門員の方の話も聞けて良かった。
- ・中学生までの家族の相談場所として“ファミリーア”があることを知れて良かった。中学、高校、就職についてのことが手厚くなって欲しい。等

